

学校だより

明るく 元気に たくましく

平成30年4月27日発行

広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行

TEL 082-250-7101 E-mail : yougo-s@e.city.hiroshima.jp

FAX 082-250-7102

ホームページ : <http://www.hiroshimayogo.edu.city.hiroshima.jp/>



正門の桜

昨年度の体罰事案については皆様にも多大な御心配、御迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。また、3月末の報道により、さらに御心配や御迷惑を増大させてしまい、衷心よりお詫び申し上げます。4月に行いました保護者説明会では多数御出席いただきありがとうございます。保護者の皆様からいただいた御意見等を真摯に受け止め、今後、このようなことを二度と起こさないよう、教職員一同、児童生徒一人一人に応じた適切な指導、必要な支援を行うよう、精一杯努めてまいります。

そして、これまで保護者や関係者の皆様からいただいていた信頼を回復できるよう精進します。これからも、本校教育について、お気づきのことがありましたら、私をはじめ、本校教職員へいつでもお伝えください。

御入学おめでとうございます

□ 入学式



糸山教育長の挨拶



在校生からの祝福を受ける新入生

4月9日(月)に小学部・中学部入学式を挙行いたしました。多くの御来賓の皆様のお臨席を賜り、広島市教育長 糸山 隆 様には式の中で御挨拶をいただきました。厚くお礼を申し上げます。本年度、小学部第1学年に32名、中学部に31名の新入生を迎えました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。校長式辞の中で次のような話をしました。「新入生の皆さんに、これから始まる学校生活での目標を言います。三つあります。一つ目『明るく』です。明るいあいさつをしましょう。二つ目『元気に』です。

元気な体をつくりましょう。三つ目『たくましく』です。たくさんのことにチャレンジしましょう。『明るく 元気に たくましく』皆さんが活躍する姿を楽しみにしています。応援しています。」これからは、広島市立広島特別支援学校の児童生徒として、自信と誇りをもって生活をしてほしいと思います。本校教職員は、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導と必要な支援を行い、児童生徒のもつ能力を最大限に発揮できるよう努めていきます。

4月10日(火)には、広島市健康福祉局障害福祉部 部長 橋場 聡子 様をはじめ、多くの御来賓の皆様のお臨席を賜り、高等部入学式を挙行いたしました。94名の高等部新入生の本校への入学を心よりお祝いいたします。おめでとうございます。新入生の皆さんに次のような話をしました。

「自信と誇りをもって、楽しい学校生活を送ってください。高等部3年間の目標は、『豊かに生活できる力を付ける。』です。この目標に向かって、何をすればよいのでしょうか。それは、『あ・い・う・え・お』を行うのです。『あ』は、挨拶です。心のこもった気持ちのよい挨拶は、みんなを幸せにします。『い』は、命です。自分の命、人の命を大切にすることです。一生懸命生きるのです。『う』は、運動です。運動をして元気な心と体をつくるのです。『え』は、笑顔です。みんなが笑顔で過ごせるようにしたいですね。『お』は、思いやりです。人の気持ちが分かる優しさです。友達と仲良くすることでもあります。友達が一杯できるといいですね。」

御多用の中、両日の入学式に御臨席を賜りました御来賓の皆様、御列席を賜りました教育委員会の皆様、前PTA会長、PTA会長、副会長の皆様にお礼を申し上げます。



生徒代表歓迎の言葉



PTA会長挨拶

□ 就任式・始業式

4月6日(金)に、就任式を行いました。本年度、教諭41名、養護教諭1名、給食調理員2名、事務職員4名、介助員9名、添乗員3名、合わせて60名の教職員が新たに着任しました。今年度より、教育相談主任、事務職員ともに1名増員していただきました。

始業式においては今回の体罰事案について児童生徒に直接謝罪するとともに今後の私た



就任式の様子

ちの決意を述べました。

また、春休みの生活の振り返りと進級した児童生徒へ励ましの言葉を贈りました。

□ 新入生歓迎会

<中学部> 4月16日(月)に、中学部新入生歓迎会を行いました。歓迎の気持ちを込めて、全員で「がんばれ中学部」を歌い、最後は「中学部コール」で、歓迎会を締めくくりました。司会や指揮者、紹介者など、2・3年生の生徒がそれぞれの役割を精一杯果たし、歓迎の気持ちを新入生に伝えていくことができました。これからの中学部での活動に期待がもてる素敵な会になりました。

<高等部> 4月19日(木)に、高等部の全学年が体育館に集まり、新入生歓迎会を行いました。この歓迎会の目的は、新入生歓迎以外に生徒会の活動について知ってもらうということです。そのため、司会、プログラム作成、ポスター作成、合唱の指揮、クイズ担当、生徒会についての説明、1年生の誘導、看板の確認・修正等、全ての役割を生徒会の生徒が担い、何度も何度も練習をした上で本番に臨みました。練習やりハーサルも緊張感に満ちていて、生徒は集中して取り組んでいます。本番はむしろリラックスした和やかな雰囲気の中で、初めて多くの先輩に会ってドキドキしている新入生を心から楽しませることができました。



高等部新入生歓迎会クイズ



2年生から新入生へのプレゼント



中学部新入生歓迎会

<小学部> 4月24日(火)に小学部集会「入学おめでとう会」をしました。大きな拍手に迎えられ、少し恥ずかしそうに1年生が入場し、

会が始まりました。「みんなの広場」の曲に合わせて、学年コールでお祝いの気持ちを1年生に伝えました。1年生は、2年生からプレゼントをもらい、とてもうれしそうな表情をしていました。この1年間みんなが仲良く笑顔で過ごすことができる予感がする温かい会となりました。

□ 参観・懇談

4月18日(水)、4月19日(木)、4月20日(金)に、今年度、最初の参観・懇談を行いました。たくさんの保護者の皆様に、児童生徒の学習の様子を参観していただきありがとうございました。

また、学年、学級の懇談会においては、学校、学年、学級の経営ビジョン等を示させていただきました。



高等部第2学年「生活単元学習」



中学部第2学年「美術」

今年度も「児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。」を学校教育目標とし、研究主題を「自立と社会参加を目指し、『わかる』『できる』『かかわりあう』を大切に授業づくり」、副題を『『わかる』、『できる』、『かかわりあう』日常生活における指導に向けて」として、専門性を高め、たゆまぬ教育実践を積み重ねていこうと考えています。今年度も御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

□ 家庭訪問について

新入学年においては、個別の教育支援計画Bの「本人・保護者の願い」等を記入していただいたり、在校学年においては変更点等を記入していただいたりしました。この教育支援計画は、お子様の将来の目標を見据え、そのために本年度、誰が何に取り組まなければならないか、どういった連携が必要か等を明らかにしていきます。保護者と学校が情報を共有しながら教育をすすめるために必要なものです。学校において本年度取り組んでいく内容を詳しく示しています。また、更に具体的に学期ごとに目標や手立て、評価を記したものが個別の指導計画兼あゆみ・通知表に当たります。

4月末から始まりました家庭訪問では、本年度の指導の目標や手立てについてお話したいと思いますので、よろしくお願いいたします。また、これまでの情報に加え、新たな情報や詳しい情報があれば、いろいろ教えていただければと思います。行動の背景にあるものが分かれば、より具体的な目標を立て、手立てを講じることが可能となります。お子様の成長のために御家庭と学校が手を取り合っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

□ 御来校いただいた方々 (教育相談での見学は除いています。)

日付	団体名等	人数
4月13日(金)	村田相互設計 様	4名
4月16日(月)	インドネシアの特別支援学校教員御一行 様	8名